

令和7年度第2回 国立大学法人新潟大学物品・役務等契約監視委員会 議事概要

| | |
|------------------------|---|
| 開催日時及び開催方法 | 令和8年2月4日(水) 9時00分～11時20分 新潟大学松風会館第二会議室 |
| 委員 | 委員長 岡 俊幸(監事) , 委員 赤塚弘晃(監事) , 委員 太田耕治(監査室長) , 委員 五十嵐広明(弁護士) |
| 審議対象期間 | 令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日) |
| 抽出案件 | 政府調達(総合評価) 1件, 政府調達(最低価格) 1件, 一般競争 4件, 随意契約 2件 計 8件 |
| 質疑応答部署 | 財務部財務管理課, 医歯学総合病院管理運営課 |
| 委員からの質問・意見等, それに対する回答等 | 下記のとおり |
| 委員会による意見の具申, 勧告の内容 | 不適切な点, 改善すべき点はなかった。 |

【審議事項】 令和6年度に締結された契約のうち, 抽出された契約の審議

1. 新潟大学建物清掃業務 (政府調達・総合評価)

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|-----------------------------|---|
| 1社しか入札されなかった背景は何か。 | 総合評価落札方式への対応が可能な企業が限られていたこと, 加えて清掃面積が広く一定の人員体制が必要であったため, 参加可能な企業が少なかった。 |
| 参考見積は何社から取得したか。 | 応札を希望したA社からのみ見積を取得した。 |
| 積算方法の理由は何か。 | 統一的な形式による積算が適切と判断。 |
| 最低賃金上昇に伴う契約後の単価見直し要請はあるか。 | 現時点で要請はなし。大学からは3年間の見積額での対応を依頼している。 |
| 政府調達方式としたが応札が少なかった理由を確認したか。 | 市場動向や理由の確認を実施した。 |

2. 透析管理システム (政府調達・最低価格)

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 予定価格と契約金額が同額となった理由は何か。 | 参考見積を取得したB社の見積額が低価格であったため。 |
| 入札は1社であり, B社以外の選択肢はない状態という理解でよいか。 | B社以外に提案可能な企業がない状況であった。 |

| | |
|------------------------|--|
| 参考見積が1社となった理由は何か。 | 複数社から取得を試みたが、他社からは見積取得ができなかった。 |
| 構成内訳は、既存品構成を踏襲しているものか。 | 既存（2012年導入）システム構成を踏襲しつつ、必要機能をバージョンアップして購入。 |
| 供給性能と定価の逆転理由は何か。 | 供給量の違いによって定価や製造価格が変動する。 |
| この機種を取り扱っているのはB社だけか。 | 詳細は把握していないが、取り扱い代理店の状況は確認できていない。 |
| 障害発生時の12時間以内対応の根拠は何か。 | 医療現場の意見等を踏まえ、関東圏からの支援も可能な範囲として設定。 |

3. 新潟大学医歯学総合病院院内運搬業務及び諸作業業務 一式 （一般競争）

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|---|---|
| 契約期間を3年間とした理由は何か。 | 業務内容が複雑であり、他の請負業務も同様に3年契約が主流であるため。 |
| 契約期間を長くすることは可能か。 | 長くすることも可能であるが、3年契約を主流としている。 |
| 地域限定の有無について。 | 地域限定は行わず、資格要件のみ設定。 |
| 入札が1社であった理由は何か。 | 公告を実施したものの、対応可能な企業はC社のみであった。 |
| 契約時に個人情報保護に関する誓約書等の徴取はどうしているか。従業員に同様な誓約書を確認しているか。 | 企業の管理体制に関する書面は徴取しているが、従業員個人への誓約書までは取得していない。 |
| 最低賃金上昇による金額見直し要請はあるか。 | 現時点で要請はなし。必要時に応じ協議で対応する。 |
| 長期間の契約をしたとしても、協議で契約金額が変わる場合もあるか。 | 長期契約も可能だが、協議により金額が変動する場合もある。 |
| 県内ないし近隣に他にできる業者はないか。 | 公告をホームページで広く周知したが、他社からの応募はなかった。 |

4. シリンジポンプ 100台 (一般競争)

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|-----------------------------|------------------------------|
| メーカー・機種を選定者は誰か。 | 院内の担当部門により選定。 |
| 100台を4か月で納品可能な理由は何か。 | 在庫品であるため4か月で納品可能。 |
| この製品は永久的にこの品番の製品が在庫としてあるのか。 | 当面は同一機種が継続して在庫される見込み。 |
| 前回購入時との差額理由は何か。 | 国立大学病院長会議の共同調達制度により価格が抑制された。 |

5. ドラフトチャンバー (一般競争)

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|---|---------------------------------|
| D社が入札しなかった理由は何か。 | 仕様への対応が困難であった可能性はあるが詳細は不明。 |
| 構成No. 3に屋上に設置するものがあるが、No. 2のフュームフード2台に接続する形か。 | No. 3は屋上設置で、No. 2のフュームフード2台に接続。 |
| 構成No. 1について、排気ダクトはどうするのか。 | 既存ダクトを再利用し接続。 |

6. SomaScan Assayを用いたプロテオーム解析 (一般競争)

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|---|---|
| 入札が1社となった理由は何か。 | 高度専門性が求められ、対応可能な企業が限られていた。 |
| ヒト生体試料解析については、「秘密情報の保持」「納品物の機密性の確保及び受領者の制限」「第三者再委託の有無」について、条項に記載したほうが良いので、考慮いただきたい。 | 秘密情報の保持、納品物の機密確保、受領者の制限、第三者再委託の有無について契約条項への明記を検討する。 |

7. アセスメント・サポートシステム（2期）開発委託（随意契約）

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|----------------------|-----------------------------------|
| システム構築の範囲はどこからどこまでか。 | 1期の内容を踏まえたうえで検証し、2期の仕様を作成した。 |
| 1期目の手続きはどうであったか。 | 令和5年度、予定価格500万円以下の随意契約によりD社と随意契約。 |
| 秘密保持誓約書の徴取はどうしているか。 | 1期目の誓約書徴取は漏れていたが、必要な対応へ向けて改善を図る。 |
| 1期目時点で4期まで計画されていたのか。 | 大枠は当初より計画されていた。 |
| 2期目を他社が担当することは可能か。 | 仕様上、他社での実施は困難。 |

8. インタラクティブ動画活用のためのeラーニング環境整備（随意契約）

| 質問・意見等 | 説明・回答 |
|------------------------|---------------------------------|
| 随意契約とした理由は何か。 | 指定モデル（ワークプリンス）に対応できるのがE社のみであった。 |
| システム運用費（MWSaaS）は継続するか。 | 継続予定。 |
| ランニングコストは発生するか。 | 発生しない。 |
| 総合評価方式が合っているのではないか。 | 製品更新等も踏まえ、情報基盤センターで検討。 |
| 3年契約は可能か。 | 情報基盤センターの方針による。 |

《参考・複数者応札件数の割合》

| 〈年度〉 | 〈500万円以上の契約のうち随意契約を除く件数〉 | 〈複数者応札件数〉 | 〈割合〉 |
|-------|--------------------------|-----------|-------|
| 令和2年度 | 111件 | 39件 | 35.1% |
| 令和3年度 | 186件 | 57件 | 30.6% |
| 令和4年度 | 158件 | 47件 | 29.7% |
| 令和5年度 | 100件 | 22件 | 22.0% |
| 令和6年度 | 100件 | 27件 | 27.0% |

【講評】

赤塚委員

全体として大きな問題はなかったが、病院関連3件がすべて1社入札である点に課題がある。参考見積は原則複数取得が望ましく、より競争性を確保する取り組みが必要である。

太田委員

全体を通して、契約の手続きに意見はない。仕様書の中に様々な秘密情報や個人情報に関する記載をして相手方に担保してもらう必要がある。最近ではサプライチェーンリスクにおけるインシデント等も発生しているので、そういった部分の管理体制を網羅的に仕様書に組み込むようにしていただきたい。更に契約手続き後に關して、事実確認する書面等を確実に付備するようお願いしたい。

五十嵐委員

契約内容は妥当であるとしつつも、1社入札が複数見られる点を課題とし、複数入札を実現するための継続的な取り組みを求める。

岡委員長

適正な契約および適正な競争環境の確保が重要である。入札不参加の理由を把握し改善を図ること、他大学との情報交換、予定価格算出方法の妥当性向上などを求め、引き続き適正な契約執行に努めていただきたい。